

年の瀬に贈る、“街の音楽家”たちが本気で臨むスペシャル・コンサート

宗次ホールいっぱい広がる 最小編成の大合唱

歌手4人とピアニスト2人による

人の

Vocal & Pianist

ルトスワフスキ:
パガニーニの主題による狂詩曲
[2台ピアノ版]

モーツァルト:歌劇「フィガロの結婚」より
“もう飛ぶまいぞ、この蝶々”

ビゼー:歌劇「カルメン」より
“恋は野の鳥”(ハバネラ)

Beethoven
Symphony
No.9

J.シュトラウスⅡ:
歌劇「こうもり」より“時計の二重唱”

ドビュッシー:小組曲[連弾]

ラフマニノフ:前奏曲 Op.3-2「鐘」[2台ピアノ版]



ベートーヴェン(リスト 編):交響曲 第9番 二短調 Op.125より
第4楽章「よろこびの歌」[2台ピアノ&4声版]



ソプラノ
奥村 育子
Ikuko Okumura



メゾソプラノ
相可 佐代子
Sayoko Ooka



テノール
大久保 亮
Ryo Okubo



バリトン
松下 伸也
Shinya Matsushita



ピアノ
前田 祐里
Yuri Maeda



ピアノ
今泉 藍子
Aiko Imaizumi

2021年12月23日(木) 13:30開演 13:00開場[自由席] 一般3,000円 学生(対象:小学生以上25才以下の学生) 1,800円
ハーフ60(後半のみ観覧の当日券)

チケットのお求めは
10月10日(日)
10時より 販売開始

- 宗次ホールチケットセンター ① TEL:052 (265) 1718
② インターネット予約→
- チケットぴあ TEL:0570 (02) 9999 [Pコード205-221]
- 名鉄ホールチケットセンター TEL:052 (561) 7755



くらしの中にクラシック
宗次ホール
Munetsugu Hall
名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
www.munetsuguhall.com
営業時間:10:00 ~ 16:00 不定休

※やむをえず、曲目などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。 ※未就学児のご入場は、ご遠慮ください。



日本の年末の風物詩、各地で開催されるベートーヴェンの「第九」演奏会。昨年は各地で「合唱は感染リスクが高い」という理由により、その多くが中止になりました。この「6人の第九」は、そんな状況の中でも「第九」をと、瀬戸市文化センター主催の「ソーシャル・ディスタンシング・ステージ」のために企画されたもので、本公演はその時のメンバーそっくりそのまま宗次ホールで再び、という趣向です。東海地区を拠点にそれぞれ充実した活動を行っている歌手とピアニストによる、新たな「第九」にご期待ください。

奥村 育子 Ikuko Okumura (ソプラノ)



愛知県立芸術大学卒業、同大学院首席修了。在学中中村桃子賞受賞。また大学の推薦により大幸財団第22回丹羽奨励生として奨学金を受ける。全日本学生音楽コンクール、岐阜国際音楽祭コンクール、奏楽堂日本歌曲コンクール等多くのコンクールで入賞。オペラでは『ヘンゼルとグレーテル』『子どもと魔法』『魔笛』『カルメン』等、ほかバッハ『ロ短調ミサ』、ベートーヴェン『第九』、ハイドン『天地創造』にソリスト出演。2019年、NHK-FM『リサイタル・パッショ』に出演。同朋高等学校音楽科非常勤講師、もりっこ彩合唱団指導者。

相可 佐代子 Sayoko Ooka (メゾソプラノ)



名古屋音楽大学卒業、同大学院修了。2001年パリ市立シャトレ劇場研修生として渡仏、エコール・ノルマル音楽院ではルーセル奨学金を得て研鑽、演奏家ディプロムを審査員満場一致で取得。帰国後も『カルメン』（タイトルロール）『ナクソス島のアリアドネ』（作曲家）など多数のオペラに出演。またベートーヴェン『第九』『ミサ・ソレムニス』等のソリストを務める。NHK-FM『名曲リサイタル』出演。2012年津市文化奨励賞。ソロ・リサイタルにおいて、2014年名古屋音楽ペンクラブ賞、2010年、2018年には名古屋市民芸術祭賞受賞。京都市立芸術大学、名古屋音楽大学、愛知県立芸術大学で後進の指導にもあたる。

大久保 亮 Ryo Okubo (テノール)



愛知県立芸術大学卒業。同大学院首席修了。バッハ『マタイ』『ヨハネ』両受難曲のエヴァンゲリストをはじめ、ヘンデル『メサイア』、バッハ『ミサ曲ロ短調』、ハイドン『天地創造』、モーツァルト『レクイエム』『ミサ曲ハ短調』、ベートーヴェン『ミサ曲ハ長調』『第九』、オルフ『カルミナ・ブラーナ』などにソリスト出演。シューベルト『美しい水車小屋の娘』『冬の旅』『白鳥の歌』等のリサイタルも定期的に開催。

松下 伸也 Shinya Matsushita (バリトン)



愛知県立芸術大学卒業、同大学院修了。学部在学中に『コジ・ファン・トゥッテ』のグリエルモでデビュー後、名古屋オペラ協会、名古屋二期会、三重音楽発信、三重オペラ協会等に幅広い役で出演する。またコンサートソリストとして『第九』『メサイア』等に出演、リサイタルでは『美しい水車小屋の娘』『冬の旅』『リーダークライス』『詩人の恋』等のプログラムで多数開催する。愛知淑徳大学福祉貢献学部准教授、岐阜県立加納高等学校非常勤講師。

前田 祐里 Yuri Maeda (ピアノ)



6歳より作曲を始め、幼少の頃よりピアノと作曲の両面で各種コンクールに入賞。名古屋市立菊里高校音楽科在学中、青少年のためのエトリンゲン国際ピアノコンクール(独)でファイナリスト。高校卒業後ヤマハ音楽支援制度の奨学金を受け渡独。マンハイム音楽大学を満場一致の最優秀成績で卒業。さらに同大学のソリスト課程修了、ドイツ国家演奏家資格取得。欧州各地のコンクールで入賞、オーケストラと共演。また2008年のイタリアでのデビュー後、欧州各地でソロ・リサイタルを行う。2014年NHK-FMリサイタル・ノヴァ出演。約10年のドイツ生活を経て現在は日本を拠点に演奏活動、また後進の育成にあたる。ニース国際ピアノコンクールほか、様々な国内外のコンクール審査員を務める。

今泉 藍子 Aiko Imaizumi (ピアノ)



瀬戸市出身。名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て東京藝術大学卒業。奨学生としてニューヨーク市立大学クイーンズ校アーロン・コーブランド音楽院に留学、同修了。在学中にBalsam財団賞など受賞。カーネギーホールNYO・USAオーケストラ、オーディション用サンプルビデオ出演。クラリネット奏者C.ナイディック、大島文子両氏による北軽井沢ミュージックセミナー公式伴奏者を務める等、室内楽奏者としても活躍。西岡あさみとのピアノ・デュオでは数々のコンサートに出演し、ニューヨーク公演も果たした。現在、後進の指導にも力を注いでいる。

【お客様へのお願い】

発熱など、体調に不安のある方はご来場をお控えください。

来館時、お手洗い使用後の手洗いや消毒にご協力ください。

館内ではマスクを着用してください。

開場時、お手洗い利用時の整列では間を空けてお並びください。

スタッフの勤務方法と共に、この他にも各感染予防対策を実施いたします。
詳しくは、ホームページ www.munetsuguhall.com をご覧ください。

■地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com
宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00 不定休